7.3.17　３月議会全協要旨

東黒川区の反対署名の内容と経過、今後の対応方法について

〇日　時　　令和７年３月 17 日（月）9:40～10:30
〇出席者　　飯綱町議会議員全員、長野広域連合環境推進課職員２名
　　飯綱町役場住民環境課職員２名

別添資料により説明（飯綱町、長野広域連合）
広域連合議会での一般質問概要等説明（町選出議員）

【質疑応答】

（議員）

最終候補地の決定は令和８年で、最終処分場の稼働は令和１８年を予定している。稼働までの間に地元からいろいろな要望等が出てくると思うが、受け入れてくれるのか。

（長野広域連合）

地域との合意形成を図るなかで対応していく。須坂市や千曲市の例でも地元の道路や公民館の整備など行っている。そのための補助事業も用意している。事業主体は地元自治体になる。

（議員）

芋川の民間最終処分場と勘違いしている人もあり、もう一度賛成なのか反対なのか、どういうことをすれば賛成なのかを聞いたほうがよい。

（飯綱町）

もう一度、賛否を問うかどうかは東黒川区で考えることになる。区長にそのような話があったことは伝えたい。要望等があればお聞きしていく。

（議員）

反対理由の３点について、水質汚染、水量減少、風評被害があるのかどうか、須坂市等他の地域と比べて実際どうなのか、地域住民にしっかり説明していく必要がある。広域で共同でやっている事業であり反対はしないが安全の上に安全を期して進めてほしい。

（飯綱町）

水質汚染、水量減少、風評被害については、地元説明会でも説明している。また広報誌の特集で取り上げたり、説明会の内容はホームページにも掲載している。風評被害は一般的にあるものと承知している。安全だというＰＲもしていきたい。

（議員）

水量減少対策は実施していくということでよいか。

7.3.17　３月議会全協要旨

東黒川区の反対署名の内容と経過、今後の対応方法について

（飯綱町）

ため池等も含め検討していきたい。

（議員）

風評被害についてはあるという説明だったが、そういう説明は避けた方が良い。風評被害はあるかどうかは分からない部分もあるので、対応をしっかりやっていくという説明でよい。

（長野広域連合）

水質汚染や水量減少は、最終候補地となった場合、環境影響調査を行ったうえで対応していく。

水質汚染ではダイオキシン等が問題になるが須坂エコパークの例を言うと、埋め立て地の上流部の数値より処理水の数値の方が２桁低い数値となっている。ＢＯＤやＣＯＤの値も通常の河川よりも低い値になっている。水量減少についても、埋め立て地の面積は 18,500 ㎡の予定だが、八蛇川の流域面積の１％にも満たない面積になる。風評被害については須坂市仁礼や長野市小松原では聞いていない。

（議員）

いずれにせよ事例に基づいて説明していくことが大事である。地元対象地域は地蔵久保、袖之山、東黒川だけでその他はないのか。

（飯綱町）

現在、地元対象地域は地蔵久保、袖之山、東黒川としている。今まで広報や説明会を開催する中で他地域からの話はなかった。他の地域から話があれば柔軟に対応していきたい。

（議員）

地元対象地域が補助事業の対象となるということでよいか。

（飯綱町）

そのようになる。

（議員）

現在も既に水量が減少しており厳しい状況だと聞いている。取り入れ口の改良等の計画はあるのか。

（飯綱町）

現在も水量が厳しいという話は東黒川区の前区長の時から聞いている。改良等の内容は担当課ではないので、把握していない。

以上